

平成29年度第1回宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会 議事録

平成29年10月25日(水) 10:15～12:00

宗像市役所3階 第2委員会室

■出席者

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
黒瀬 重幸	出	土屋 潤	出	平松 秋子	出
○大方 優子	出	葦津 幹之	出	井手 優二	出
西谷 正	欠	矢原 吉房	出	酒井 了	出
山野 善郎	出	森 弘子	出	松井 陽子	出

オブザーバー：岩井 創(国土交通省九州地方整備局)

印は会長、○印は副会長

1. 宗像市歴史的風致維持向上計画について

○序章

平松：計画の期間について短期、中期、長期というように項目を分けたほうが良いのではないか。

→第6章の事業について財政面なども考慮して基本的には10年間の長期の計画を設定している。事業の進捗については推進協議会の中で確認をしていけたらと思う。

井手：10年間の計画期間後はどのような見通しとなるのか

→10年経過した時点で事業内容の評価を行い、必要に応じて次年度以降の計画推進に向けての検討を行うように考えている。

○第1章 宗像市の歴史的風致の背景

平松：釣川の源流がわかるように表現してほしい。

→対応する。

平松：宗像の歴史にかかわる主な人物について、朝鮮通信使の来日にも尽力した湖心和尚と玄蘇和尚を追加してはどうか。

→ご指摘の人物は宗像の歴史というより、対馬などで外交に携わった人物であり、ここでは含んでいない。

平松：牟田尻古墳群と世界遺産の構成資産「新原奴山古墳群」との関係はどうなっているのか。

→現時点では二つの古墳群の関係を説明するには至っていない。

平松：田野瀬戸古墳は荒廃が進んでおり、早急な整備が必要である。

→市としても整備の必要性を認識しており、来年度の古墳の防災についての予算計上を行っている。

森：主な未指定文化財の記載内容は具体性に欠け分かりづらい。

→わかりやすい説明になるように修正する。

○第2章 宗像市の維持向上すべき歴史的風致

森：「沿岸部の祭事・信仰にみる歴史的風致」では、離島部分を含んでいないような印象を受ける。「宗像七浦の信仰にみる歴史的風致」としてはどうか。

→いただいたご意見を参考に再度検討したい。

市：「宗像大社にまつわる歴史的風致」に対してまつわるという単語はマイナスのイメージがあるということで「宗像大社にゆかりのある歴史的風致」としてはどうかという指摘を受けている。

森：地域の習俗のはじまりについて50年以上の根拠資料を探すのは難しいのではないかと
→国から可能な限り根拠資料の提出を求められており、現在資料を探している。

平松：八所宮の歴史的風致についてお神楽の風致もあるのではないかと
→平成25年からはじめたものであり、国協議の中で歴史が浅いことについて指摘を受けたので計画への記載は割愛している。

井手：第2章のはじまりの頁に4つの風致の位置図を入れたほうが良いのではないかと
→指摘のように対応したい。

森：赤間祇園祭の写真のキャプションは主観的表現になっており不適切ではないかと
→表現について見直したい。

○第4章 重点区域の位置及び区域

井手：重点区域の面積が大幅に減少したことで計画にはどのような影響があったのか。
→重点区域が小さくなることで、区域から外れた事業について国からの財政的な支援を受けることができなくなるが、事業の内容自体は前回から変更はしていない。

矢原：重点区域の範囲について観光関係の施設が建設しにくくなるのか。観光面でのメリットやデメリットがあるのか。
→重点区域が他の土地利用に関する計画と連動するものではない。

○第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

森：祭りの用具については触れているが調査や映像記録については事業の中で触れられていない。
→無形民俗文化財等調査支援等事業の内容に含まれている。

土屋：無電柱化事業について特に優先して行う範囲などを想定しているのか。
→県とも連携しながら宗像大社辺津宮周辺を優先的に行うように考えている。

大方：事業名と事業概要の整合が取れていないように思う。
→記載内容について精査してわかりやすいように検討する。

○第7章 歴史的風致形成建造物に関する事項

土屋：歴史的風致形成建造物と景観重要建造物との関係をどのように考えているのか。
→本市では現在景観重要建造物の指定を行っていないが、歴史的風致形成建造物の指定も考慮しながら順次指定を検討していきたい。

葦津：祭事に関する子供たちを送迎するためのバスのチャーター代に大きな費用が掛かっている。祭事に関してはハード部分だけでなく、ソフトの部分に費用が掛かっている。この計画を策定することでそのようなソフトな面に対しての支援があるのか。

→ハード整備のみを記載する計画ではなく、ソフト面に対する支援も可能であるが送迎バスなどの具体的な事項に対して支援可能かどうかは現時点では判断できない。

葦津：大社内の建物の建て替え等を行う際に現時点の補助に対する上乗せなどはあるのか。補助も含めた具体的な事業のイメージはあるのか。

→計画の認定により、大社周辺の環境整備が加速できるように考えているが、現時点の補助に対する上乗せができるかどうかは定かではない。

○次回の日程

・平成 29 年 1 月上旬 （10～12 日）

議事録署名委員

印

印